

平成25年第1回燕市議会定例会 一般質問

質 問 日		質 問 者	
11日(月)	午前	1	本 多 了 一 議員
		2	小 林 由 明 議員
	午後	3	渡 邊 雄 三 議員
		4	埴 豊 議員
		5	樋 浦 恵 美 議員
		6	中 島 清 一 議員
12日(火)	午前	7	大 原 伊 一 議員
		8	大 岩 勉 議員
	午後	9	齋 藤 信 行 議員
		10	土 田 昇 議員
		11	山 崎 雅 男 議員
		12	中 山 眞 二 議員
13日(水)	午前	13	齋 藤 紀美江 議員
		14	夕 ナ カ ・ キ ン 議員
	午後	15	阿 部 健 二 議員
		16	長 井 由喜雄 議員

平成25年第1回燕市議会定例会一般質問表

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	本 多 了 一	<p>1. 新庁舎での業務開始にあたって望むこと</p> <p>(1) 市職員の姿勢をより市民本位に変えてゆく課題について 次の宣誓を忘れずに事務にあたることについてどうか。 その宣誓は「私はここに主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、且つ擁護することを固く誓います。私は地方自治の本旨を体するとともに、公務を民主的且つ能率的に運営すべき責務を深く自覚し、全体の奉仕者として誠実且つ公正に職務を遂行することを固く誓います」となっている。</p> <p>(2) 職員の補充はどうすすめるのか</p> <p>2. 臨時職員の現状とそこにどう光をあてるか</p> <p>(1) 保育現場や学校管理員、てまりの湯など臨時職員を多く配置しているが、待遇が正職員とあまりに違いが多すぎると見るが、その是正について問う。</p> <p>3. 住宅リフォーム制度のさらなる拡充を</p> <p>(1) この制度の周知が広がり、利用者も増えてきているのが現状だ。消費税が来年上げられる様相の中で、この制度の利用者が多くなると推察される。補助額のアップ等の拡充を求めるがいかがか。24年度での経済効果はどれくらい見込まれるか。</p> <p>4. 非核平和都市宣言に関連して</p> <p>(1) 「非核平和都市宣言燕市」の大きな看板を建てることと、長崎の爆心地に生えていた「クスノ木」の種からとった幼木があるが、平和宣言塔と合わせて植樹することを望むがいかがか。</p>
2	小 林 由 明	<p>1. 産業施策について</p> <p>(1) 起業家育成、起業意識の刺激、キャリアアップ教育などの人材育成について平成25年度事業においてどのような取り組みを考えているか。</p> <p>(2) 商店街の振興について 鈴木市政3年を振り返り、市内3地区商店街の振興について、市長はどのようなお考えをお持ちか伺いたい。</p> <p>(3) 見本市について メゾンエオブジェなどへの市による出展について、市長の感想と今後の展開をお聞かせいただきたい。</p> <p>2. 大人の学びについて</p> <p>(1) 新年度事業における、社会教育の重点的取り組みについて伺いたい。</p> <p>(2) 大人の読書推進について、どのように考えているか。</p> <p>3. 市の景観形成について</p> <p>(1) 住民にとっても燕市を訪れる人々にとっても、心惹かれる街並みの整備は必要であろうと思う。市内の景観形成について、どのようにお考えか伺いたい。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
3	渡 邊 雄 三	<p><u>1. 市長の政治姿勢について</u></p> <p>燕市は、平成18年3月20日に燕市、吉田町、分水町の3市町が合併し新しい燕市としてスタートして今年20日で満7年になります。</p> <p>同年10月に新庁舎建設市民検討委員会が51名で設立され、平成19年6月には、全議員から構成された、新庁舎建設等検討特別委員会が設立され、以後、さまざまな角度から提案、議論を重ね今年5月7日に開庁の運びとなりました。その間、都市計画マスタープランが策定され、平成37年計画目標の達成に向け、日々、一步一步前進努力をされているところだと推察いたします。新庁舎の完成は、今後の燕市を大きく開くカギとなると思います。そこで伺います。</p> <p>(1) 燕市総合計画、後期基本計画（平成24年～27年）にもありますが、今後の都市計画についてのお考えを聞かせていただきたい。</p> <p>(2) 新庁舎移転に伴い、職員の人材育成をどのように考えているのかお伺いします。</p> <p><u>2. 通学路の安全安心について</u></p> <p>昨年4月から5月にかけて通学路で児童が犠牲になる重大事故が多発しました。その後、学校安全推進計画に伴い、各地域の学校、警察、道路関係者等に対し通学路の安全点検や、安全確保に努めることを要請する文部科学大臣メッセージが出された。</p> <p>燕市もその要請に応じて、危険個所の調査、点検を行い全市で100を超える危険個所が確認されたとありました。その後、30%くらい改善されたと伺いましたが現在どのようになっているのか。そこで伺います。</p> <p>(1) P T A、地域の方からの要望を踏まえて通学路の安全安心対策の進捗状況と今後の対策を伺う。</p> <p>(2) 小学校、保育園等の整備がなされているが「ゾーン30」の設置について今後の対応を伺う。</p>
4	埜 豊	<p><u>1. 財政問題について</u></p> <p>(1) 普通交付税と臨時財政対策債との関係について</p> <p>(2) 臨時財政対策債の発行残高の増加と償還に対する、燕市財政に与える影響について</p> <p><u>2. まちなか活性化事業について</u></p> <p>(1) 天神講のさらなる推進について</p> <p>(2) 燕駅前道路の一方通行解除について</p> <p><u>3. 職員研修制度のこれからについて</u></p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
5	樋 浦 恵 美	<p>1. 発達障害児に対する支援体制について</p> <p>近年「発達障害者支援法」「障害者自立支援法」と障害福祉に関係する制度が相次いで施行され、また、「特別支援教育」も本格的に始まり、「育ちに不安を抱える子どもを地域や身近なところで発見し、本人にあった支援を行うこと」が大切ではないかと思えます。</p> <p>(1) 本市における発達障害児数と「通教指導教室（ことばの教室）」の現状はどのようなになっているのか。</p> <p>(2) 専門医による幼稚園・保育園の巡回は行っているのか。</p> <p>(3) 就学後の引き継ぎは行っているのか。</p> <p>(4) 関係職員、保護者の理解を深めるための研修や講演会などの取り組みはされているのか。</p> <p>(5) 今後の課題について、どのように認識されているのか。</p> <p>2. 男性介護者の現状と支援体制について</p> <p>男性介護者（妻を介護する夫、親を介護する息子）が近年増加しています。同居の主たる介護者のうち、4人に1人が男性となっており、高齢夫婦世帯の増加等によって、今後、男性介護者の割合が増加することが見込まれます。</p> <p>(1) 本市における男性介護者の人数とその推移、また、現状についてどのように認識されているのか。</p> <p>(2) 男性介護者に対する支援は行われているのか。今後は、どのような支援が必要であるのか。</p>
6	中 島 清 一	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 政権交代を市長はどのように考えるか。また、本市への影響はどうか。</p> <p>①自民党政権が復帰し、デフレ脱却を掲げた安倍政権の「アベノミクス」への期待感から、円安・株高が進んでいる。物価が上がり景気が回復すれば、やがて賃金も上昇すると政府は見込んでいる。物価が先行して上がり、賃金などが置き去りのままではかえって生活が苦しくなるのではという懸念もあるが市長の考えはどうか。</p> <p>②地方自治体向けの「ひも付き補助金」を改善するために民主党政権が創設した一括交付金を2013年度予算から廃止する方針を決めた。本市に及ぼす影響はどうか。</p> <p>③国土強靱のために10年間で200兆円の財政出動を行うという。景気対策としての公共事業は仕事と雇用を増やすが、果たしてそれが地域経済に広く波及効果をもたらすかという疑問である。市長はどのように考えるか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
6	中 島 清 一	<p>(2) 市長が平成 25 年度予算に盛り込まれた重点政策について伺う。</p> <p>①「日本一輝いているまち燕市」を目指し、平成 22 年 4 月に市長に就任され、まもなく 3 年になる。市政のかじとりも一期目ラストの 1 年ということになる。仕上げの平成 25 年度における市長の目玉政策は何か。</p> <p>②市長の考える政策実現には市職員の高い意識とすぐれた能力が求められる。市長は市職員をどのように評価されているか。</p> <p>2. 平成 25 年度における老朽インフラの維持改修について 道路や橋梁の維持修繕計画は 道路や橋など主なインフラについて共同通信社が行った全国自治体アンケートでは、今後の維持費用を推計した自治体の約 8 割が財源不足を予想している。こうした中における本市の今年度の維持修繕計画はどうか。</p> <p>3. 太陽光発電「屋根貸し」事業について 「燕子ども応援おひさまプロジェクト」で市内 8 施設の屋根で発電を行うことが決まった。屋根の貸し主は得られた利用料の一部を市の子ども基金に寄付する仕組みとなっている。太陽光発電は次世代エネルギーとして注目されているが、「屋根を貸してもよい」という民間の事業者や公共施設もあるのではないかと。「屋根貸し」事業を継続して再度取り組めないか。</p> <p>4. 本市におけるいじめの実態と対策について伺う。 警察が学校に強制捜査に入るなど、社会的に大きな波紋を広げた大津市の中 2 男子生徒のいじめ自殺問題、なぜ早期にいじめを発見できなかったのか、どうして自殺を防げなかったのか、教育現場の対応が問われている。本市における実態と対策について伺う。</p>
7	大 原 伊 一	<p>1. 燕警察署移転に伴う地域の要望について</p> <p>(1) 現燕警察署も新燕市となり区域の拡大による署員の増大に対応できず、また、老朽化耐震問題等で燕市役所新庁舎に隣接する新警察署への移転が間近に迫ってきたが、近隣の住民から移転による不安を訴えられるようになってきました。不安解消のための方策について</p> <p>①現在の燕警察署近隣の市民から、警察署の移転に伴い犯罪が増えるのではないかと指摘する声があります。</p> <p>②現在の規模を維持することはできないと思いますが、せめて 4～5 名くらいが常駐する出張所を置くことができないのか。</p> <p>(2) 現在の燕警察署跡地についてどのような利用がなされるのか</p> <p>①跡地利用について県から何らかの話があるのか。</p> <p>②燕消防署の老朽化が進み、雨漏りの問題等近い時期に対応策を検討する時期に来ていると考える警察署跡地の利用も考えても良いのではないかと。</p> <p>(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
7	大 原 伊 一	<p>(3) 燕交通安全センターについて</p> <p>①市民からの寄付により燕交通安全センターが出来て自動車免許書き換え等に利便性を果たしているが、警察署の移転に伴い移転する予定があるのか。</p> <p>②燕交通安全センターには駐車場も有るので、そこへ警察の中規模交番を設置していただけるようにできないか。</p> <p><u>2. 補助金・委託料の在り方について</u></p> <p>(1) 透明性の高い補助金・委託料の在り方について</p> <p>①合併して7年を経過しようとしているが、旧態依然とした対応で進んできているように感じられる。継続性だけで進めて良い制度なのか疑問を感じている。庁舎建設に伴い、市民から見て透明性・公平性の高い補助金の在り方、委託料制度との線引きを検討すべきでないのか。</p> <p><u>3. 県央地区に1日も早い救命救急病院の設置を望む</u></p> <p>(1) 県央地区全体の命を守る病院として、一日も早い完成を望む市民の声が多くあるが、2月4日に開かれた第11回合同会議の内容を確認したい。</p> <p>①会議はどのように進められ、どのような意見が出ていたのか確認をしたい。</p> <p>②県央医療圏救命救急センター併設病院は、燕労災病院と厚生連三条総合病院統合再編案でまとまったという認識でよいのか。</p> <p>③合同会議における今後のスケジュールはどのように進むのか。</p> <p><u>4. 健康診査の在り方について</u></p> <p>(1) 新潟市では、国民健康保険加入者を対象とした特定健康診査について、医療機関で受診する内容となっているが、受診者にとって都合の良い日、時間帯を選べることで、受診率向上につながるのではなか。</p> <p>①限られた日程の中で、検診に参加できない市民もおられると考える。受診率向上を考えると医療機関で受けられるのも一つの方策として考えてはいかがか。検討されたことはあるのか。</p> <p><u>5. 25年産米の品質向上に向けた取り組みについて</u></p> <p>(1) 24年産米の品質低下をどのように分析しているのか。</p> <p>①24年産米の品種による品質低下の状況はどのようになっていたのか。</p> <p>②本市には防災メールシステムがあるが、異常高温時の熱中症対策や、農作物管理のワンポイントアドバイスなども配信できないのか。</p> <p>(2) 25年産米の品質向上対策、指導体制について</p> <p>①三条地域振興局を中心とした指導体制の強化を行っていく必要があると考えるが対策はあるのか。</p> <p>②本市においては、本市産業に従事している農業生産者が多く情報の伝達が、後手に回っているのではないかと、情報伝達について検討を加えていくべきであるがいかがか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
8	大 岩 勉	<p>1. 教育振興対策について</p> <p>(1) 燕市教員研修視察、ときめきスクール推進事業について</p> <p>①視察の具体的成果を教育委員会はどのように考えているのか。</p> <p>②自校の教育、自己の指導に取り入れて推進されているのか。</p> <p>(2) 宇宙からの贈り物、米納津隕石落下記念碑について</p> <p>①現地見学など、授業で指導されているのか。</p> <p>②観光事業として施策展開を積極的にPRし、推進したらどうか。</p> <p>(3) リサイクル活動として、不要になった洋服を寄贈する活動に、児童や生徒を参加させたらどうか。</p> <p>2. 防犯灯LED化やESCO（エスコ）事業について</p> <p>(1) 光熱費、修繕費の削減事業効果と将来的ランニングコストはどうか。</p> <p>(2) 燕市自治会に対して、どのように説明されているのか。</p> <p>(3) 地区別に維持管理されている地元電気工事業者の位置付けを、どのように考えているのか。</p> <p>3. 東京電力㈱との「安全協定」の締結について</p> <p>(1) 原発の安全性の確保を東京電力や国に求め続けていく必要があると思うがいかがか。</p> <p>(2) 東京電力柏崎刈羽原発再稼働、運転再開を容認するものなのか。</p> <p>(3) 電気料金の値上げ、ガソリンや灯油の価格上昇は、家計の負担増、企業にとっても採算が悪化しており大変深刻な問題である。実態を把握されているか。</p>
9	齋 藤 信 行	<p>1. 米納津隕石について</p> <p>2月15日ロシア中部チェリャビンスク州に隕石が落下し、テレビ等の報道では1,000人以上がけがをするなど大きな被害をもたらした。また、過去に起きた日本での隕石落下などの報道もあった中で、隕石で町おこしを行っている自治体もあるということでした。そこでわが市にも1837年7月13日16時頃落下した「米納津隕石」があります。日本では3番目に重く31.65kgあるそうです。つばめっ子かるたでも⓪で「米納津の隕石天からの贈りもの」とあります。また、教育委員会では「米納津隕石物語」に隕石落下の状況について説明されているということです。</p> <p>今後市では、米納津隕石落下地として町おこしに活用する方向性などあるのかお伺いします。また、学校ではどのような取り組みをしているかお伺いします。</p> <p>2. 新観光協会の立ち上げと観光の推進について</p> <p>全市的な観光案内業務と観光情報発信業務を実施するために新観光協会を立ち上げ、この春の「分水おいらん道中」、秋の「酒呑童子行列」は開催されることとなりますが、新観光協会にどのような効果を期待しているのか。</p> <p>また、新年度事業として地域発信型観光事業、着地型観光振興支援事業、ニューツーリズム推進事業が計画されているが、実施によってどのような燕の観光の推進が図られるのか、新観光協会はどうかかわるのかについてお伺いします。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
9	齋藤 信行	<p>3. 分水北部地区について 分水北部地区は残土の排出も終わりに近づいていますが、今後の方向性について市の考えをお伺いします。</p>
10	土田 昇	<p>1. 柏崎・刈羽原発の今後の課題について (1) 2月24日の新潟日報の報道では、将来の原発について「できるだけ速やかにやめる」「依存度を徐々に減らしゼロにする」と、廃止を求めた人が69%に上がり、「残すべき」と考える人は29%にとどまったと報道されました。新潟県知事も福島原発事故の検証や、過酷事故を想定した実効性ある避難計画なしに「再稼働の議論をすべきでない」と報道されているが市長の見解について伺う。同時に以下の5点についても伺う。 ① 50キロ圏内に、113万人が生活、避難計画とその実行は不可能と思うがどのように感じているか。 ② 使用済み核燃料は敷地内プールが満杯まであとわずかと報道されているが、その点の認識について伺う。 ③ 中越沖地震で数千カ所が深刻な損傷があったと承知しているが、一步間違えば大変な状況になったと思うがその点の認識について伺う。 ④ 直下に断層があると指摘されているが、一般的な認識では廃炉すべきと考えるがその点の認識について伺う。 ⑤ 安定ヨウ素剤の配布については、どのような指導があったのか伺う。 (2) 安全協定の内容について伺う。</p> <p>2. 県央基幹病院の課題について (1) 2月5日の新聞報道で、燕労災病院と厚生連三条総合病院による統合再編により整備する方向が決まり、県では新潟大学、県医師会、地元医療関係者らによる「県央基幹病院基本構想策定委員会」を設置して、今年中に基本構想を策定する方針と報道されましたが、以下の4点について伺います。 ① 基幹病院は500床で医師80人と報道されているが、医師の確保を重点課題として県に求めていくべきと思うがその点について伺う。 ② 合同会議の確認に沿って、迅速に作業を進めて中間報告を求めていくべきと思うがその点について伺う。 ③ 公設、民営で行う意見集約ができたとしているが、現行の診療報酬では救命救急医療は不採算要素が高いとされているので、公設、公営が安定的な経営が必要と思うがその点について伺う。 ④ 設置場所については、対象地域の合意形成が必要であると考えますが、県が主導的に判断をする方が良いと思うが、その中間報告を強く求めていくべきと思うがその点について伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	土 田 昇	<p>(2) 県立吉田病院について、これ以上縮小させないために以下の3点について伺います。</p> <p>①地域医療の拠点病院として重要であり、2次医療機関としての整備充実を図ることを強く求める必要があると思うがその点について伺う。</p> <p>②やがて設置される救命救急センターの後方支援病院として、現在よりも機能整備を拡充するように求めていくべきと考えますがその点について伺う。</p> <p>③老朽化と耐震性を十分検討する時期にきていると思うので、その点について県に求めていく必要があると思うがその点について伺う。</p>
11	山 崎 雅 男	<p>1. 定員適正管理計画について</p> <p>(1) ①正規職員が平成18年は730名で、平成24年には86名減の644名である。平成18年の臨時職員は417名で、平成24年には185名増の602名である。臨時職員等の責任や負担も増してきている中で、処遇や待遇等の現状について伺う。</p> <p>②主な臨時職員の種類とどのような職種において何人雇用し、今後の取り組み方について伺う。</p> <p>(2) ①行政改革大綱後期実施計画では、平成24年から平成28年の5カ年計画で618名の50人削減目標を掲げているが、地方分権に伴い業務が増大する中で、行政改革に伴う職員数削減による市民サービスの提供の質の低下が懸念されるが定員適正化について、財政面、事務事業の見直し等による視点としての考えなのか見解を伺う。</p> <p>②職員定数削減により事務事業、仕事が増大する部・課も出ると思うが、臨時職員での対応なのか。また、中長期的あるいは燕市83,000有余の人口に対して、市民ニーズに対応した行政運営に支障のない職員数の適正化は何名くらいで、最終的着地点をどのように予定されているのか。</p> <p>③平成24年度の職員採用は23名であるが、平成24年4月1日現在、職員構成で20歳～31歳まで644名中99名で全体の15.4%である。行財政改革による職員の新規採用が抑制されていないか。中長期的に基本的行政サービスの質の低下を招き市政運営に影響が出てこないか見解を伺う。</p> <p>学歴別新規採用の捉え方と企業雇用促進を願う燕市としても市役所雇用確保の場としての責務はどうか。</p> <p>④年齢別構成で48歳～60歳までの職員数295名で全体の45.9%である。平成24年度から平成27年度の計画期間後についても職員の大量退職が見込まれる。</p> <p>職員の専門性、企画立案等に能力が求められる中で、市民サービス低下を招かないことも重要であり、どのような組織、機構で市政運営を図り、どのように人材確保を図るのか。組織機構の見直しと定員管理適正化についての見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
11	山崎雅男	<p>(3) 長く地方公務員として、地方自治法等を守り市民の福祉、行政等住民サービスに奉仕者として取り組んできた職員の直近の勸奨退職者数と退職理由、市としての捉え方はどうなのか。</p> <p>2. 旧保養所「たのうら燕」について</p> <p>(1) 旧保養所「たのうら燕」の公有財産売却の入札参加申し込み期間が、平成25年1月16日から平成25年2月5日までとなっていたが、公売に対しての進捗状況はどうなのか。</p> <p>(2) 空き家等の管理不全状態の防止、安心で良好な景観づくり及び住環境の確保等による燕市空き家等の適正管理、及びまちなか居住促進に関する条例(案)が示されたが、人的・自然的災害の不安や景観が悪く近隣に迷惑をかけ続けている廃墟化した「たのうら燕」の公共施設を早急に結論を出し、方向性を出さないと燕市が空き家対策に取り組んでも市民に対して説得力が欠けるが見解を伺う。</p> <p>3. 通学路の交通安全の確保について</p> <p>(1) ①燕市内全体で103カ所の通学路危険箇所の中で、小中学校の危険箇所とはどのようなものなのか。子供たちの尊い命を守るために、危険箇所等早急なる安全対策をいつまで、どのように改善されていくのか。今後の整備予定を伺う。</p> <p>②燕市内通学路の歩道・路側帯及びグリーンベルトの敷設状況の実態と、通学路の交通安全についての現状認識はどうなのか。</p> <p>(2) 通学路やスクールゾーンは、児童・生徒が毎日の通学にかかわる場所として高い安全性が求められる。通学路と指定されている多くは狭幅員道路で、いわば生活道路でもあり、その一定区間で指定された通学路である。通学路やスクールゾーン及び生活道路等の定義を伺う。</p> <p>4. 教育問題について</p> <p>(1) ①燕市の小中学校における、いじめ、不登校等の児童・生徒そして保護者からの相談件数等、生徒指導にかかわる現状と学校・教育委員会の認識を伺う。</p> <p>②直近の学校等によって認知された問題行動の内容と、その行動類型、件数について伺う。</p> <p>(2) 中学校でのクラブ活動等で指導、しつけ等の名目でしごき、体罰のような教職員の指導は行われていないのか。また、学校現場から見た「体罰と愛のムチ」の認識と捉え方について伺う。</p> <p>(3) 不登校問題の課題は、中学校卒業後の就学、就業であり、学力、進路不安対策に学校・教育委員会の認識と課題解決に向けた取り組みはどうなのか伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 2	中山 眞 二	<p>1. 空き地と防災について</p> <p>(1) 1月21日未明に発生した燕市南4丁目の火災に関し、密集地における空き地というものが火災の広がりを防ぐ意味で非常に効果があったと思うが、当局は防災の意味で空き地をどのようにとらえているか。</p> <p>(2) また、都市整備の観点からは空き地をどのように考えているか。防災との整合性をかんがみ、空き地としての有効性をどのようにとらえるのか。</p> <p>(3) 密集地における空き地を防災上の観点から、何らかの規定の中で、固定資産税の減免等考えてはいかがか。</p> <p>(4) 老朽化した空き家を都市整備上また防災上どのように考えているか。また再利用、また取り壊しの促進にあたって補助金を出す考えはないか。</p> <p>2. 土地利用と職員駐車場について</p> <p>(1) 歩いてはいけなくなった新庁舎に職員はどのような交通機関で通勤するのか、また通勤費はどのように変化するのか。</p> <p>(2) 新庁舎における職員駐車場の利用料金はどのようになっているのか。現在の利用料金との比較、また他市との比較はどのようになっているのか。</p> <p>(3) 新庁舎以外の職員の駐車料金はどのようになっているのか。</p> <p>(4) 移転によって利用しなくなった駐車場の借地面積と解約する借地料の金額は。</p> <p>(5) 庁舎移転によっていらなくなった駐車場に市所有の土地はあるのか、また、その活用方法は。</p> <p>(6) 利用料金を別会計または基金化して、何年か貯めて職員また市民を交えた中で活用方法を考えてはいかがか。</p>
1 3	齋藤紀美江	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 市長の任期も最後の年度を迎えることになる。この3年間公約の実現に取り組まれてきていると思うが自己評価はどうか。市政運営に当たり一番心してきたことは何か。</p> <p>(2) 市長は教育についての一般質問には答弁をなさらないがどうしてか。公約や年度当初の施政方針には教育や子育てに言及しておられるのに、市長の責任において答弁をする必要があるように思うがどうか。</p> <p>2. 職員研修について</p> <p>(1) 職員研修に力を入れてきているが成果は上がっているのか。今年度取り組んでこられた研修内容と回数、参加人数について。</p> <p>(2) 職員の自主的な研修についての取り組みはどうか。資格取得に対して支援はあるのか。</p> <p>(3) 防災関係の研修が必要と思うが、してこられたのか。今後する予定は。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
13	齋藤紀美江	<p>3. 広報のありかたについて</p> <p>(1) 広報の仕方についての課題で先日研修をされておられた。『燕市職員全員が広報マンの時代。つくるから伝える、行政マンも「伝える」「コミュニケーション」とは？改めて、広報とは？ということ』という話だった。 「コミュニケーションとは」、「広報とは」、学んだことは何か。</p> <p>(2) 今やインターネットの時代。若い人たちにとって情報収集の手段となっている。ホームページは大事な情報発信の場だと思う。ホームページの見直しはされているのか。キッズページはどうなったのか。</p> <p>4. 観光政策について</p> <p>(1) 観光協会を一本化することになったが、事務所の場所がなぜ、産業史料館なのか、産業観光に力を入れているのは分かるが、観光で注目を浴びているのは分水地区だと思う。分水地区に置くべきではないのか。どのように考えているのか。</p> <p>(2) まち歩きを何回かされているが課題や評価はどうか。モデルコースでのマップは作られているのか。</p> <p>(3) 観光こそ広報の力が必要。発信力が求められると思う。何を観光資源とするのか。地域の宝が発する光を見ることが観光であり、その地域の宝を見つけ出す力がなくては発信できないと思うがどうか。</p> <p>5. 防災計画について</p> <p>(1) 災害ボランティアセンターの位置付けについてどういう認識を持っておられるのか。ボラセンとの情報共有、また、情報公開についてどのような対策を考えておられるのか。議会との連絡調整や情報共有、情報公開についてはどうか。</p> <p>(2) 避難所運営マニュアルは策定するのか。</p> <p>(3) 災害救助法や被災者再建支援法では、早期の対応が求められている。被災家屋の判定について独自の書式の準備はあるのか。また、今までの災害時家屋の被害調査の応援にいった職員はどのくらいいるのか。</p>
14	タナカ・キン	<p>1. 燕市に対する損害賠償請求事件について</p> <p>(1) 新聞報道によれば、平成22年1月26日朝、燕市吉田日之出町地内の市道に沿う排水路に転落して市道に這い上がったものの、凍死したと見られる状態で見つかった女性会社員（当時48歳）の遺族が、排水路に設置されているはずのグレーチング（金属製のフタ）が外れていたため死亡事故につながったなどとして、排水路の所有・管理主体である燕市や排水路占有許可を得ていた事業者などに対して、損害賠償請求を起こしたものである。</p> <p>以上の内容も新聞報道で知るのだが、市が2月22日の全員協議会で議会に提出したこの事件の資料は「平成22年1月26日午前6時ころ、吉田日之出町7番19号付近路上にて凍死した女性について損害賠償請求の提訴を受けたもの」という簡単なものであった。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	タナカ・キン	<p>①内容の説明も無し、議員の質問を受けようとしめない姿勢は、私は議会軽視と思うが、市は議会に対する説明責任をどのように考えてられるのか。</p> <p>②排水路に設置されているはずのフタがされていないことから転落したとなれば、管理者である市の責任も重いものがある。ただの凍死でなかったという事実を市はいつ知ったのか。</p> <p>③知った時点で遺族の方に謝罪されたのか。</p> <p>④今までに遺族の方と話し合いはされてきたのか。</p> <p>⑤市は占有許可先の事業者に対し、指導はしていたということだが、どんな指導をしていたのか。</p> <p>⑥担当者はフタが設置されていない状態を確認して危険を感じていなかったのか。</p> <p>⑦市長が就任して3年になるが、市民から訴訟を起こされるのはこれで2度目となる。この事をどう感じてられるのか。</p> <p>2. 観光施策について</p> <p>4月から分水地区と燕地区の観光協会が統合される。</p> <p>(1) 何か目玉となるようなイベントは計画されているか。</p> <p>(2) 現在、全国で数えきれない程の「ゆるキャラ」が誕生している。2011年「ゆるキャラグランプリ」で1位になった熊本県のキャラクター「くまモン」は人気急上昇しており、「くまモン」を利用した商品の売上げが昨年1年間で293億6,000万円にも達したという。燕市も「つば九郎」にばかり頼っていないで、オリジナルのキャラクターを考えてみてもいいのではないか。</p> <p>(3) 産業史料館・良寛史料館・長善館史料館、これらも観光スポットである。展覧会の案内や展示の仕方など改善の余地がある。所管の枠を超えて連携すべきと思うが。</p> <p>3. 文化会館の有効活用について</p> <p>文化会館の駐車スペースが188台から277台に拡張された。これで文化会館がより便利で使いやすくなる。では、利用状況はどうか。</p> <p>(1) 文化会館の自主事業も予算の関係で減ってきている。また、民間の利用も減っている。建設されてから30年以上経過している施設である。もっと市民に利用してもらえるよう、使用料も見直す時期にきているのではないだろうか。</p> <p>大ホールの使用料についてお聞きします。平日について、土・日・祝日はどうか。準備のために借りる場合についてはどうか。今までに使用料の見直しはされたのか。</p> <p>(2) 展示ホールが改修されてから4年が経過しました。この間、どれくらいの利用があったのか。年度別でイベントの件数や日数、来場者数をお聞きします。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	タナカ・キン	<p>(3) 使用料は基本料金が設定されていて、営利目的のための使用料は基本料金の10割増しになっている。営利目的以外の入場料徴収は501円以上1,000円未満が5割増しで、1,000円を超える場合は10割増しである。ということは、500円までなら基本料金でいいということである。</p> <p>3月定例会に提出されている議案の中の燕市庁舎会議室等の使用に関する条例では、新庁舎内のつばめホールの使用などでは「使用者が入場料又はこれに類するものを徴収する場合は、使用料の2割に相当する額を加算する」となっている。同じ市の施設で使用に関して整合性が無いのはなぜか。</p> <p>(4) 営利目的とは何か。文化会館で仕入れてきた商品を販売する。これは営利目的である。では、個展など会場で自分の作品を販売する。(そうそう売れるものではないが) これもまた、単なる営利目的のための使用と言えるだろうか。</p> <p>4. てまりの湯へのアクセスについて</p> <p>分水駅と吉田駅には「てまりの湯」へのマイクロバスが来ているが、燕駅には来ない。燕地区の市民から燕駅にも来てもらえればもっと「てまりの湯」に行けるとの要望があったが、そのような改善はできないものか。</p>
15	阿部健二	<p>1. 燕市の予算は市民のために正しく使われてきたか（これからの行政と市議会のあり方について）</p> <p>(1) いままで慣例として行われてきた燕市議会事務局長などの任免を燕市長が行うことは、地方自治法第138条の5に抵触しないか。</p> <p>(2) 市長が議会事務局長などの任免を行うことは、東京財団の報告の中でも言われている「法的には首長と議会、それぞれに、ほぼ対等ともいえる権限が付与されている」を侵すことにならないか。</p> <p>(3) 予算書などにおける事業名を、たとえば「八王寺佐渡線道路改良事業」などと言わずに、住民にわかりやすい表現ができないのか。</p> <p>(4) 平成22年度決算書の第4目「まちづくり交付金事業」の予算額を「0円」として済ますだけでなく、せめて説明欄に「国の交付金名目の変更により第8目“社会資本整備総合交付金事業”に移行～」くらいは書くべきでは、なかったか。</p> <p>(5) 平成22年度決算書では第8目にあった“社会資本整備総合交付金事業”が平成23年度予算書では第6目になっていることなど紛らわしいと思う。第8目のままでの不都合があるのか。</p> <p>(6) 燕市の予算・決算書を作成する方たちから“わかりやすくするための”もう一工夫してほしいのであるが、例えば、臨時財政対策債とは。</p> <p>(7) 燕東小体育館入り口前の歩道橋の設置目的の1つが、学校の反対側にある教師用駐車場への先生4人の朝夕の往来のためと聞くが、学校から要望があったがためか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	阿部健二	<p>(8) その設置目的の2つ目が一般の人が東小の体育館を利用する場合（学校の反対側にある）学校開放鍵保管人の所への“行き来”のためと聞くが、鍵の保管を学校側の道路沿いの住人に頼めなかったのか。</p> <p>(9) その設置目的の3つ目が（住民説明会で）住民の要望があったからと聞くが、住民の要望とは、どのようなものだったのか。</p> <p>(10) 「改めて工事をすると倍以上の予算がかかるから」という判断からなされた八王寺佐渡線道路改良事業の追加工事に契約担当職員の忝意があったとは思わないが、今後、予算執行に首を傾げたくないような事態が起きないことを求めたいのである。いかがか。</p> <p>2. 自転車にやさしくない燕市の道路行政について</p> <p>(1) たとえば、中央橋などを渡らんがため、自転車を土手へ引き揚げる難儀さをご存じだろうか。</p> <p>(2) 中央橋などの欄干が自転車乗りには低すぎる。ことに橋に消雪パイプが敷設されて以後、自動車道との段差が生じ（幅が限定され）夜間、自転車に乗ったまま渡ることが困難になった。せめて、橋の欄干を高くできないか。</p> <p>3. 燕市国民健康保険税の安易な値上げについて</p> <p>(1) 国保会計のカネが足りなくなったから国保税を上げる… それで、いいのか。</p>
16	長井由喜雄	<p>1. 国民健康保険について</p> <p>(1) 一般会計からの繰入で国保税の引き上げをしないで</p> <p>今議会に出された国保税の引き上げ案は、所得の低い加入世帯も大きな引き上げとなり、「限界を超える引き上げだ」との声がたくさん寄せられている。</p> <p>2割軽減の対象となる所得100万円、40歳代の夫婦2人世帯の場合、軽減後の国保税は144,000円、所得に占める国保税の割合は14.4%となっているが、今回の引き上げでは186,000円、18.6%となり42,000円もの引き上げだ。また、所得が200万円の40歳代夫婦2人と子ども2人の世帯の場合では現在308,000円、所得に占める割合が15.4%であるものが年額93,000円も増額となり、401,000円となる。所得に占める割合は20%となるなど負担の限界を超え、子育て、教育にも大きな影響を及ぼすこととなるのではないか。市長は国保税の引き上げの影響をどのように考えるか。</p> <p>「基本的には一般会計からの繰入はしない」と市長は述べてきたが、厚労省が行った「22年度国保実態調査」では国保加入世帯数の構成割合は退職、失業などの無職者が40.8%、臨時やパートなどを中心とした被用者が35.3%、合わせて76.1%と、4人に3人の割合となっている。共済や協会けんぽなど他の保険と違って世帯主が現役で就労して賃金を得ている人だけで構成されているわけではなく、退職すれば国保、失業しても国保と、他の保険に加入していない人たち全員が国保加入となる。 (次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
16	長井由喜雄	<p>国民皆保険制度の中で「社会保障」の役割を担っているのが国保であり、一般会計から繰り入れてこの会計を支えることは自治体として何ら矛盾することではないと考えるが市長はどう考えるのか。県内においても2011年度において保健事業以外の繰入を行なっている市町が12あり、阿賀野市は3億円、阿賀町1億1,000万円、津南町9,500万円など、加入者一人あたり23,000円台から28,000円台まで、加入者の負担軽減のために国保会計へ繰入を行なっている。</p> <p>国保税の引き上げがされれば滞納世帯が増加し、収納率が下がるばかりか短期保険証、資格証の増加で健康を維持することさえままならない。国保税の引き上げだけでは解決できない問題だ。</p> <p>今こそ社会保障としての立場にたち、一般会計からも繰り入れて加入者を下支えし、国民健康保険制度の矛盾を国に示しながら国にも国庫補助金を以前のように50%とするよう強く求めることが必要ではないか。</p> <p>(2) 国保の広域化についての市の考えは</p> <p>国保制度の矛盾と国の実質的補助率の低下の中で、広域化によってこれを持ち切りたいとの動きがあるが、燕市はこのことについてどう考えるか。</p> <p>燕市を離れた広域化は、住民から遠いところで国保運営が行われ、現在でも滞納者が増え一般保険証ではない人たちが増えている中で、過酷な取り立てと機械的な短期・資格証の発行が増えることが目に見えるのではないか。</p> <p>(3) 「T P P 参加」問題と国民皆保険制度について</p> <p>T P P 参加交渉が国政の大きな問題となっているが、T P P への参加は医療分野においても大きな影響を及ぼすと言われている。市長は燕市国民健康保険の保険者としてこの問題をどうとらえているか。</p> <p>(4) 健康づくりと病気予防の観点からのレセプトデータの活用と展開について</p> <p>保険給付費の圧縮や健康づくりの面からジェネリック薬の普及、差額通知の取り組みをどう展開されるか。また保険年金課が健康福祉部に移管される中で、市が行なっている特定健診・特定保健指導事業の取り組みはどうなっているか。</p> <p>2. 中学校の部活動支援について</p> <p>(1) 中学校における部活動について</p> <p>中学校における部活動への支援の状況はどうか。スポーツ部と文化部の中で不均衡はないのか。</p> <p>現在、学区内にある中学校に希望部活がない場合、学区外の希望部活がある学校に通学することが可能となっている。また部活動のレベルなどにより熱心な部活運営がされていると思うが、学校における授業、部活、家庭内学習、子どもたち自身の自由時間などがバランスよく展開できることが大事だと考える。燕市においてはこれがうまくいくような支援がされているか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
16	長井由喜雄	<p>3. 子ども医療費助成の拡充について</p> <p>(1) 子どもの数に関わらず中学卒業までの通院助成拡充を</p> <p>政令市の新潟市をのぞき、昨年9月時点で通院助成を子どもの数に関係なく通学校卒業までに拡充している自治体は18市町村となっている。昨年、新潟県社会保障推進協議会が県内自治体から得た県への要望や今後の拡充計画によると、「通院助成の全子中学卒業までの拡充」と「窓口負担をなくして子どもの医療費を無料にして欲しい」という、新潟県のこの助成制度の底上げを求めることが圧倒的でした。</p> <p>同時にこの4月から村上市や田上町も全子中学卒業までの通院助成を予定しているとのことでした。燕市においても新年度途中からでも子どもの数による垣根をなくして拡充していただきたいと思うがいかがか。</p>